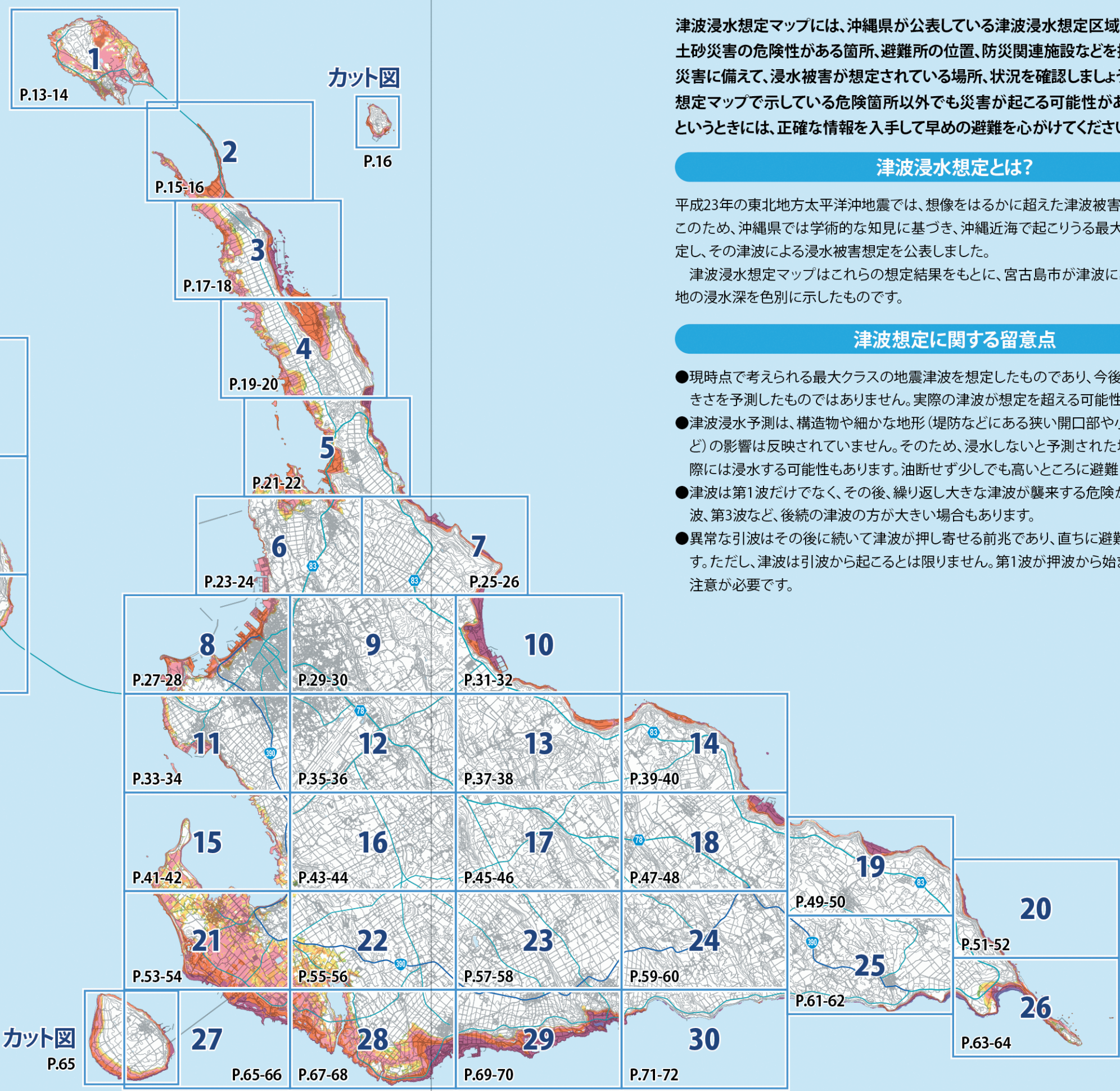


宮古島市 津波浸水想定マップ

索引図



津波浸水想定区域 (津波災害警戒区域)

20.0m以上
10.0～20.0m未満
5.0～10.0m未満
2.0～5.0m未満
1.0～2.0m未満
0.3～1.0m未満
0.01～0.3m未満

津波浸水想定マップには、沖縄県が公表している津波浸水想定区域、高潮浸水想定、土砂災害の危険性がある箇所、避難所の位置、防災関連施設などを掲載しています。災害に備えて、浸水被害が想定されている場所、状況を確認しましょう。なお、津波浸水想定マップで示している危険箇所以外でも災害が起こる可能性がありますので、いざというときには、正確な情報を入手して早めの避難を心がけてください。

津波浸水想定とは？

平成23年の東北地方太平洋沖地震では、想像をはるかに超えた津波被害が発生しました。このため、沖縄県では学術的な知見に基づき、沖縄近海で起こりうる最大クラスの津波を想定し、その津波による浸水被害想定を公表しました。

津波浸水想定マップはこれらの想定結果をもとに、宮古島市が津波に襲われた場合の各地の浸水深を色別に示したものです。

津波想定に関する留意点

- 現時点で考えられる最大クラスの地震津波を想定したものであり、今後発生する津波の大きさを予測したものではありません。実際の津波が想定を超える可能性もあります。
- 津波浸水予測は、構造物や細かな地形（堤防などにある狭い開口部や小さな河川、水路など）の影響は反映されていません。そのため、浸水しないと予測された地域であっても、実際には浸水する可能性があります。油断せず少しでも高いところに避難しましょう。
- 津波は第1波だけでなく、その後、繰り返し大きな津波が襲来する危険があります。続く第2波、第3波など、後続の津波の方が大きい場合もあります。
- 異常な引波はその後に続いて津波が押し寄せる前兆であり、直ちに避難する必要があります。ただし、津波は引波から起こるとは限りません。第1波が押波から始まることもあるので注意が必要です。